# 令和８年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領

令和７年12月５日
文部科学省

１．調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２．調査の名称

令和８年度全国学力・学習状況調査

３．調査の対象等

（１）調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校（以下「公立大学附属学校」という。）を含むものとする。

ア　小学校調査

小学校第６学年、義務教育学校前期課程第６学年、特別支援学校小学部第６学年

イ　中学校調査

中学校第３学年、義務教育学校後期課程第３学年、中等教育学校前期課程第３学年、特別支援学校中学部第３学年

（２）障害のある児童生徒に対する配慮

障害のある児童生徒については、各学校の判断により、当該児童生徒の障害の種類や程度に応じて、調査時間の延長、点字、拡大文字、ルビ振り問題の使用、代理解答、別室の設定、及び英語「話すこと」調査におけるスクリプト表示問題などの配慮を可能とする。

ただし、特別支援学校及び小・中学校等の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、以下のア又はイの事由がある児童生徒は当該事由に係る教科について、ウの事由がある生徒は英語「聞くこと」及び「話すこと」について、原則として調査の対象としない。

ア　下学年の内容などに代替して指導を受けている場合

イ　知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている場合

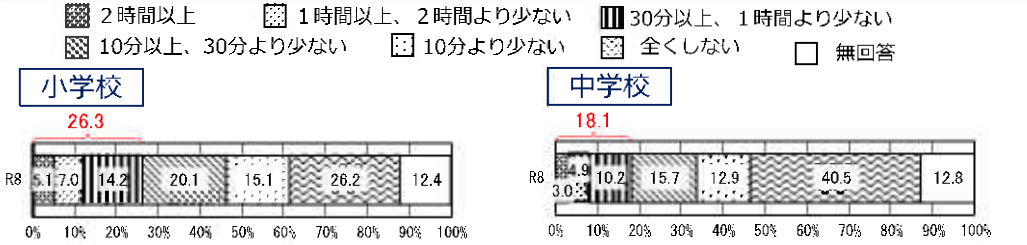
ウ　右耳・左耳それぞれの平均聴力レベルが60デシベル以上であって、英語「聞くこと」及び「話すこと」の調査の実施が難しいと判断される場合

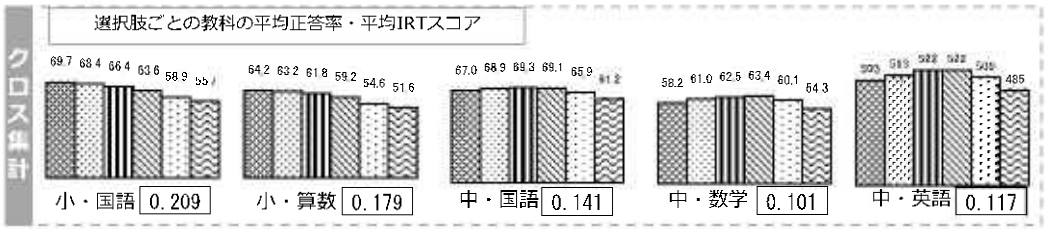
## ③ 授業外（学校外）での読書の状況

**ポイント**

- 「読書は好き」「読書は役に立つ」と考えている児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られるが、「読書が好き」と考える児童生徒の割合は減少傾向。
- 児童生徒の「読書は役に立つ」に関する回答と「課題解決に向けた積極性」「地域や社会への寄与意識」に関する回答の間には相関が見られる。

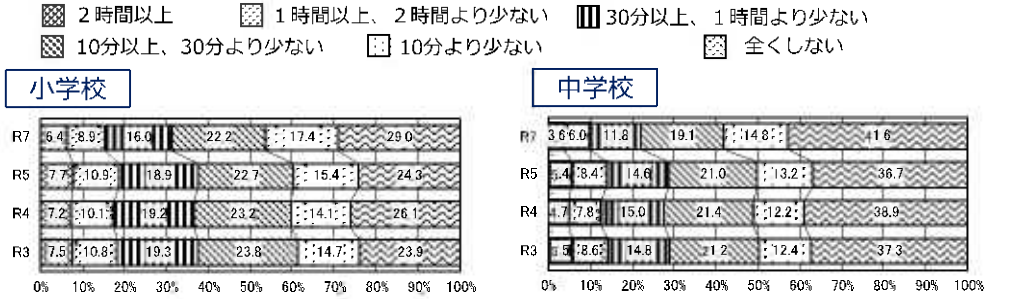
児童〔26〕 生徒〔26〕 学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。



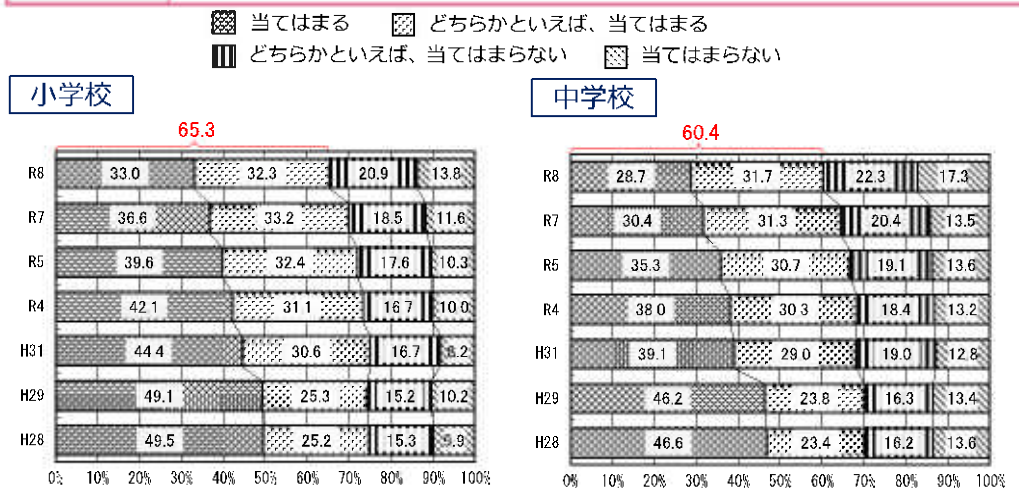



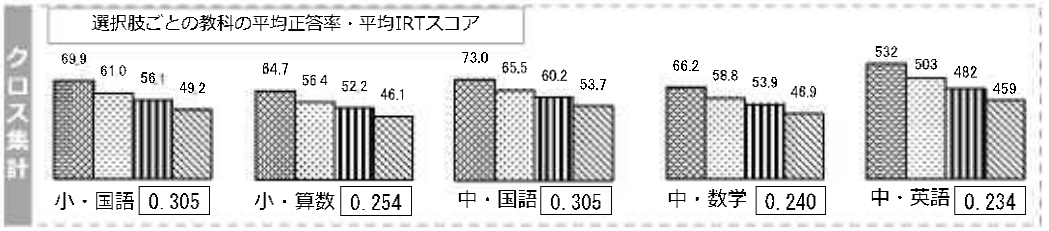

※参考（令和７年度までの調査結果）

児童質問 生徒質問 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。

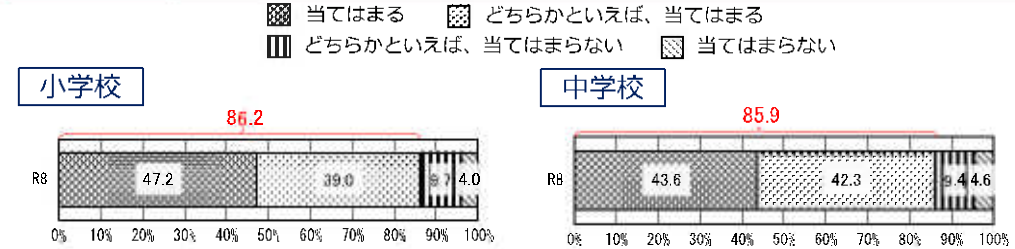


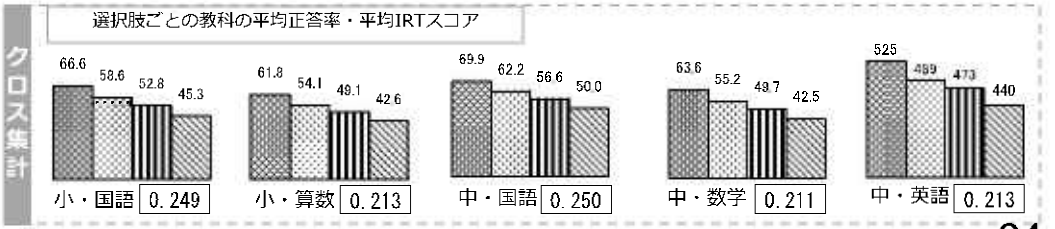

児童〔31-1〕 生徒〔31-1〕 読書は好きですか。




児童〔31-2〕 生徒〔31-2〕 読書は役に立つと思いますか。【新規】



# ICT活用による効果　～ICTを活用する自信×学びへの意欲・工夫～

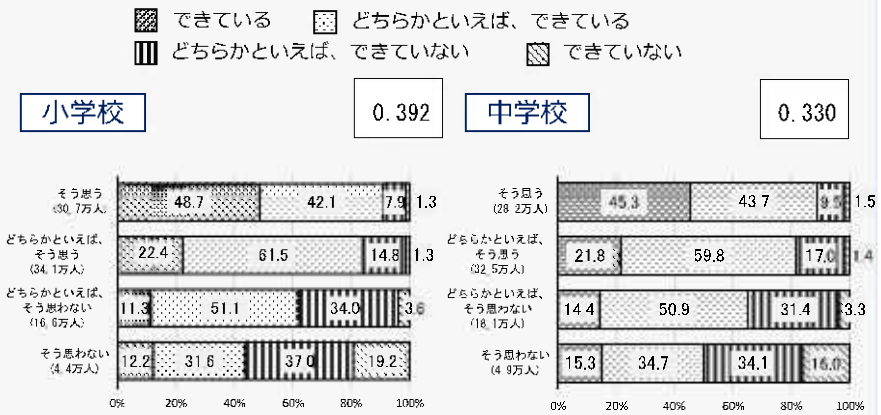
○　ICT機器を活用する自信がある児童生徒ほど、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考えて工夫したり、課題の解決に向けて自分で考えて取り組んだりしていると考えている傾向が見られる。（個別最適な学び）

○　ICT機器を活用する自信がある児童生徒ほど、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり新たな考えに気づいたり、自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したりしていると考えている傾向が見られる。（協働的な学び）

## クロス集計（児童生徒）［ICTで情報を整理できる］×［自分で学び方を考え、工夫する］

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。〔36－3〕

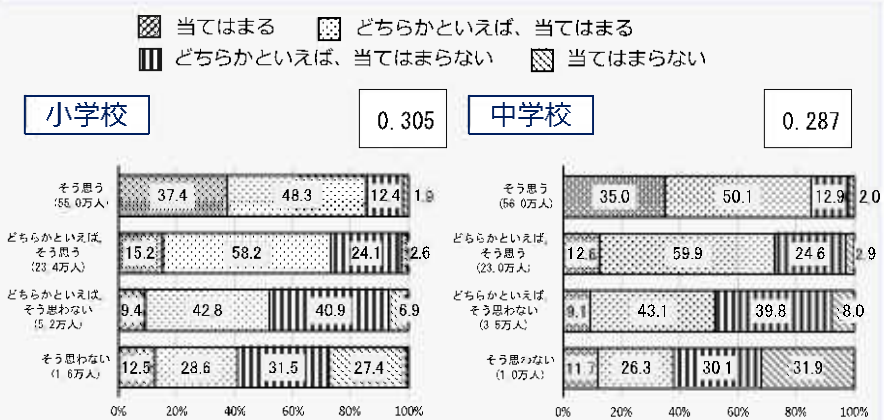
分からないことやくわ〔詳〕しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。〔22〕




## クロス集計（児童生徒）［インターネットで情報収集できる］×［課題の解決に向けて自分で考えて取り組む］

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。〔36－2〕

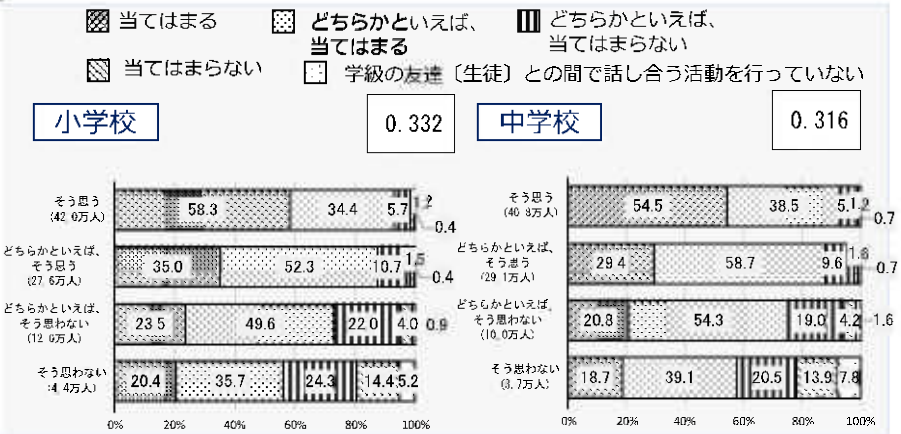
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。〔39〕




## クロス集計（児童生徒）［プレゼンを作成することができる］×［話合いで考えを深めたり新たな考えに気付いたりした］

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。〔36－4〕

学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。〔42〕

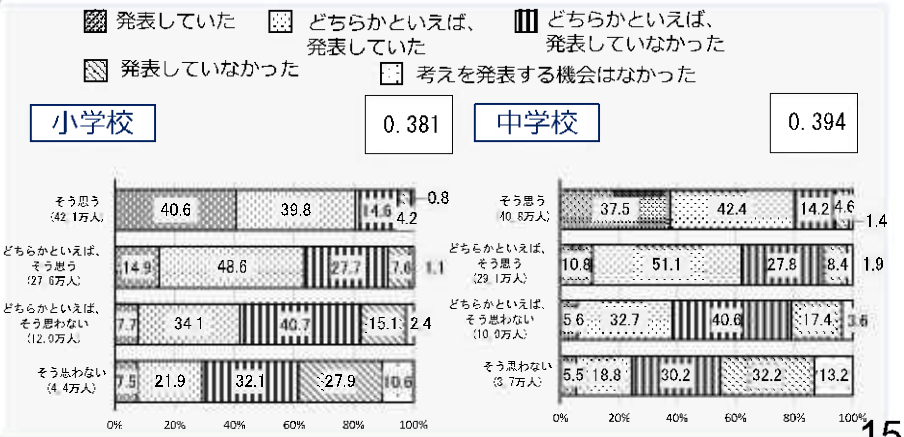



※　相関係数は、児童生徒質問42における「話し合う活動を行っていない」の回答を除外して算出

## クロス集計（児童生徒）［プレゼンを作成することができる］×［自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表した］

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。〔36－4〕

5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。〔38〕




※　相関係数は、児童生徒質問38における「考えを発表する機会はなかった」の回答を除外して算出

# (4) 授業外（学校外）での学習や生活の状況

## ① 授業外の学習状況

**ポイント**

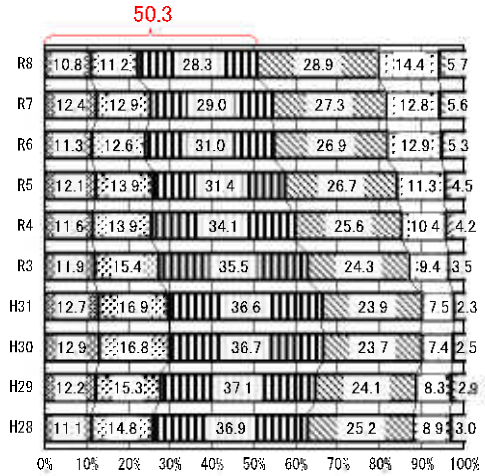
- 学校の授業時間以外における児童生徒の勉強時間は、小学校、中学校とも令和３年度以降、平日、休日いずれも減少傾向。
- 学校の授業時間以外における勉強時間が長い児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られる。

### 平日の勉強時間

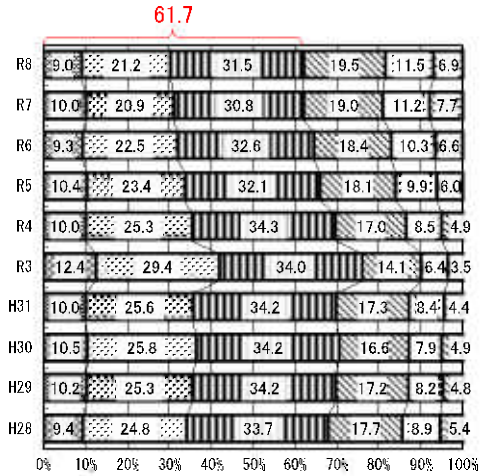
児童〔23〕
生徒〔23〕
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

３時間以上　２時間以上、３時間より少ない　１時間以上、２時間より少ない
30分以上、１時間より少ない　30分より少ない　全くしない

小学校

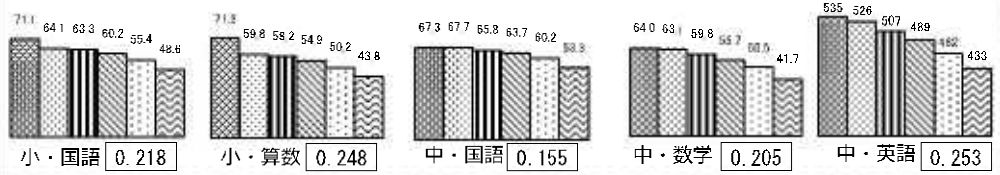



中学校




クロス集計

選択肢ごとの教科の平均正答率・平均IRTスコア

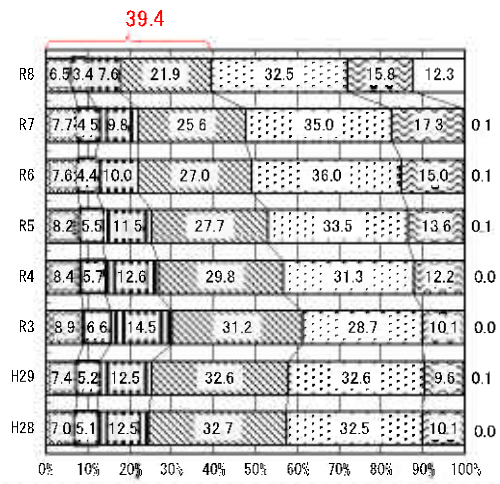



### 休日の勉強時間

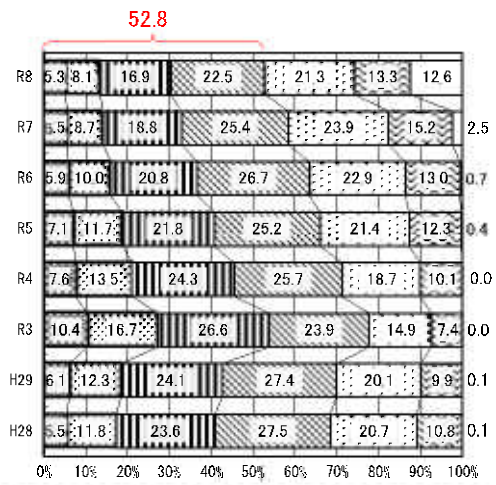
児童〔25〕
生徒〔25〕
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

４時間以上　３時間以上、４時間より少ない　２時間以上、３時間より少ない
１時間以上、２時間より少ない　１時間より少ない　全くしない　無回答

小学校




中学校




クロス集計

選択肢ごとの教科の平均正答率・平均IRTスコア

